

平成22年10月5日

COP10及び国際生物多様性年クロージングイベント
に向けた石川県の取組等について

- 「いしかわ環境フェア 2010・いしかわの里山里海展」の開催（資料1）
- 「いしかわの里山里海 生物多様性シンポジウム」の開催（資料2）
- 「生物多様性 里山知事サミット」のご案内（資料3）
- 「COP10サイドイベント 里山知事サミット」のご案内（資料4）

（お問合わせ先）
石川県企画振興部企画課
電話 076-225-1318

いしかわ環境フェア2010・いしかわの里山里海展

日時	平成22年8月21日(土)22日(日)午前10時～午後5時
場所	石川県産業展示館4号館
主催	社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議
後援	石川県、環境省中部地方環境事務所
参加者	22,000人
出展者	市民団体、企業、大学等165団体
概要	会場をテーマに分けて、それぞれ自然共生社会、低炭素社会、循環型社会に向けた提案を行った。 いしかわの里山里海展では、里山里海の様々ないのちのつながりや、そこから日々得ている多くの恵みを、楽しい「体験」やおいしい「食」を通して、生物多様性への理解と関心の向上をはかった。



全体の様子



森林シンポジウム



COP10支援実行委員会キャラバン隊



めざせ！生きものマスター クイズラリー

生きものはつながりの中に

～豊かな里山里海を未来へ～

いしかわの里山里海 生物多様性シンポジウム

資料 2

日時 平成22年10月1日(金) 13:30～17:00
(開場 13:00)

場所 石川県立音楽堂邦楽ホール
石川県金沢市昭和町20-1(金沢駅東口 徒歩1分)
主催 石川県・石川県土地改良事業団体連合会

参加無料

※裏面により、事前にお申込みをお願いします。

幻のお楽しみ企画

棚田の新米
食べくらべ



基調講演

13:30～14:30

生きものはつながりの中に JT生命誌研究館 館長 中村 桂子

プロフィール

東京都出身。理学博士。小学6年生の国語の教科書(光村図書)「生き物はつながりの中に」の著者。国立予防衛生研究所、三菱化成生命科学研究所人間・自然研究部長、早稲田大学人間科学部教授を経て、1993年自ら提唱するJT生命誌研究館を設立、副館長に就任。2002年より現職。(社)農村環境整備センター理事長、いしかわの里山・水と土保全検討委員会委員長。



トークセッション

14:30～15:20

私を感じる生きものとのつながり

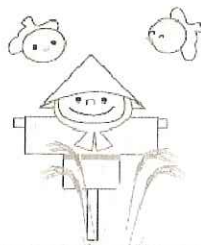
23世紀型お笑い系百姓

(株)林農産代表 林 浩陽



地球いきもの応援団(環境省)
タレント 大桃 美代子

農学系生態学者
愛媛大学准教授
日鷹 一雅



パネルディスカッション 15:35～16:50

水と土が育む生きものとのつながり

パネリスト 豊かな里山里海を未来へ

鷲谷いづみ (東京大学大学院生態学研究室教授)

中村 浩二 (金沢大学学長補佐・教授)

高橋 強 (石川県立大学教授)

北風 八紘 (NPO法人能登半島おらっちゃんの里山里海理事長)
(農業法人:(有)すえひろ 会長)

北村幸一郎 (リコージャパン(株)石川支社長室副室長)

コーディネーター 進士 五十八 (東京農業大学名誉教授)

報告 16:50～17:00

石川県生物多様性戦略ビジョンについて

石川県生物多様性戦略ビジョン策定委員会

委員長 丸山 利輔 (石川県立大学参与)

お問い合わせ先

石川県環境部自然保護課

TEL 076-225-1477 mail: e170500@pref.ishikawa.lg.jp

石川県農林水産部経営対策課

TEL 076-225-1632 mail: keieitai@pref.ishikawa.lg.jp

石川県土地改良事業団体連合会事業部 穴水事務所

TEL 0768-52-2361 mail: n.ishiguro@midori-net.jp

シンポジウム開催の趣旨

農林漁業をはじめ人々の生活の営みにより、水田、ため池、小川や雑木林などで形作られた里山は、暮らしと深く関わる里海とともに身近な自然として存在し、多様な生きものを育んできました。

しかし、燃料革命やライフスタイルの変化により、里山里海に人の手が十分に入らないようになり、耕作放棄地や手入れ不足の森が増えるなど、生きもの達にもさまざまな影響が出はじめています。

今回のシンポジウムでは、里山里海を通して私たち人間と生きものつながりについて考えていきたいと思えます。

いしかわの里山里海生物多様性シンポジウム参加申込書

申込先：水土里ネットいしかわ（石川県土地改良事業団体連合会）事業部穴水事務所 石黒あて
FAX 0768-52-1496 又は E-mail: n.ishiguro@midori-net.jp

ご連絡代表者

所属名	
職・氏名	
電話番号	

ご出席者

	所属名	氏名
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

シンポジウムに参加希望の方は、本参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXで送信いただくか、必要事項を記載し上記担当までEメールを送信してください。

なお、申込期限は9月29日（水）又は会場定員を超えた場合といたします。

※この申込みを通じて得た個人情報は、本シンポジウムの業務、連絡業務のみに使用させていただきます。

地球環境パートナーシッププラザ：GEOC

事業案内



国際的なパートナーシップづくり



COP10生物多様性条約締約国会議



CBD/COP10記念イベント「生物多様性 里山知事サミット」

CBD/COP10記念イベント

生物多様性 里山知事サミット

～里山・里海の利用・保全と地域活性化～

このシンポジウムは、国内において里山・里海の利用と保全やそれによる地域活性化に先進的な取り組みを行っている自治体の知事の参加を得て、その取組を国内外に広く発信します。また、その成果は、COP10サイドイベントで政策決定者に向けてアピールします。

日時 : 2010年10月19日(火)15:00～18:00

会場 : 「ミッドランドホール」 >>[アクセスマップ](#)

愛知県名古屋市中村区名駅4丁目7-1 ミッドランドスクエア 5階

入場料 : 無料 (定員300名 事前登録制)

主催 : 地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)、国際連合大学、環境省

後援 : 愛知県、石川県、滋賀県、静岡県、兵庫県、

東京大学サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)、(社)日本造園学会、日本生態学会、環境パートナーシップ・CLUB

【プログラム】(予定)

I. 開会あいさつ

環境省

II. 来賓あいさつ

アフメド・ジョグラフィ

III. 基調講演

1. 里山・里海の利用・保全と地域活性化(仮題)

武内和彦 国連大学副学長(東京大学IR3S副機構長、日本造園学会会長)

2. 各自治体の取り組み発表

(1) 神田真秋 愛知県知事

(2) 谷本正憲 石川県知事

(3) 井戸敏三 兵庫県知事

(4) 田口宇一郎 滋賀県副知事

(5) 大村慎一 静岡県副知事

IV. パネルディスカッション

- ・ テーマ「地域活性化のエンジンとしての里山里海」

事業案内



国際的なパートナーシップづくり



COP10生物多様性条約締約国会議



CBD/COP10記念イベント「生物多様性 里山知事サミット」

- コーディネーター 武内和彦 国連大学副学長
- パネリスト
神田真秋 愛知県知事
谷本正憲 石川県知事
井戸敏三 兵庫県知事
田口宇一郎 滋賀県副知事
大村慎一 静岡県副知事
- コメンテーター
アフメド・ジョグラフィ 生物多様性条約事務局長
渡邊綱男 環境省大臣官房審議官
堂本暁子 元IUCN 副会長
あん・まくどなるど 国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長

V. 閉会あいさつ

渡邊綱男 環境省大臣官房審議官

【お申し込み・お問い合わせ】

受付締切り:10月13日(水)

■WEBフォームからお申し込み

お申し込みフォームに必要事項をご記入の上、ご送信ください。

⇒お申し込みフォームはこちら

■Eメールからお申し込み

件名に「10/19 生物多様性 里山知事サミット」と記入し、本文に氏名、所属機関、Eメールアドレス、電話番号を明記して10月13日(水)までに satoyama@geoc.jp 宛にご送信ください。

なお、定員になり次第、締め切らせていただきますので予め御了承ください。



地球環境パートナーシッププラザは環境省と国際連合大学が共同で運営する環境情報センターです。●ご利用にあたって

最新更新日:2010/09/21
(C)地球環境パートナーシッププラザ

地球環境パートナーシッププラザ：GEOC

事業案内



国際的なパートナーシップづくり



COP10生物多様性条約締約国会議



COP10 サイドイベント「里山知事サミット」

COP10 サイドイベント

里山知事サミット

COP10に参加している国連機関、国際機関、各国政府、地方政府等の政策決定者や学会、企業、NGO・NPO、市民等に向けて、10月19日に開催する「生物多様性 里山知事サミット」にて紹介する我が国の先進的な里山・里海の利用や保全の成果を広くアピールすると同時に、世界各地域における里山・里海に代表されるような二次的自然の主体的かつ継続的な利用・保全と地域活性化のための活用の重要性を訴えます。

日時 : 2010年10月20日(水) 13:15～14:30

会場 : 愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番1号
名古屋国際会議場、白鳥公園内 政府専用特設テント内

入場方法 : COP10公式参加登録者を対象としています。当日、会場までお越しください。(参加費は無料)

使用言語 : 日本語および英語(同時通訳付き)

主催 : 地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)、国際連合大学、環境省

後援 : 愛知県、石川県、滋賀県、静岡県、兵庫県、
東京大学サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)、(社)日本造園学会、
日本生態学会、環境パートナーシップ・CLUB

【プログラム】

開会あいさつ

環境省

来賓あいさつ

アフメド・ジョグラフィ 生物多様性条約事務局長

講演 1

里山・里海の利用・保全と地域活性化と日本の自治体の取組(仮題)

武内和彦 国連大学副学長(東京大学IR3S副機構長、日本造園学会会長)

講演 2

愛知県の取組(仮題)

小川悦雄 愛知副県知事

講演 3

石川県の取組(仮題)

谷本正憲 石川県知事

事業案内



国際的なパートナーシップづくり



COP10生物多様性条約締約国会議



COP10 サイドイベント「里山知事サミット」

ディスカッション

- テーマ「里山・里海 日本の経験から」
- コーディネーター 武内和彦¹ 国連大学副学長
- コメンテーター
小川悦雄 愛知県副知事
谷本正憲 石川県知事
佐藤啓太郎 兵庫県環境担当部長
アフメド・ジョグラフィ 生物多様性条約事務局長
渡邊綱男 環境省大臣官房審議官
堂本暁子 元IUCN 副会長
あん・まくどなど 国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長

CBD/COP10へのアピール

あん・まくどなど 国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長

閉会あいさつ

竹本和彦 環境省参与



地球環境パートナーシッププラザは環境省と国際連合大学が共同で運営する環境情報センターです。●ご利用にあたって

最新更新日: 2010/09/21
(C)地球環境パートナーシッププラザ